



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
コード番号 4558 URL <https://chukyoiyakuhin.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米津 秀二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 飯田 亨 TEL 0569-29-0202
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の業績 (2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,617	△1.6	60	△32.1	64	△31.0	35	△36.0
2024年3月期第1四半期	1,643	8.9	89	80.2	93	69.0	55	96.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	3.36	—
2024年3月期第1四半期	5.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,453	2,536	46.5
2024年3月期	5,082	2,522	49.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,536百万円 2024年3月期 2,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期 (予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	1.2	140	9.3	160	8.8	55	—	5.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	11,660,734株	2024年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,012,139株	2024年3月期	1,013,529株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	10,648,274株	2024年3月期1Q	10,636,131株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、社会経済活動の正常化が進み、抑えられていた消費や投資が回復基調となり景気を持ち直しが見られました。他方、長期化するウクライナ情勢や中東情勢の悪化、世界的なインフレ急拡大とそれに伴う各国中央銀行の金融引き締め政策や為替変動による世界経済の下振れ懸念があり、国内においても円安基調の継続、物価上昇や実質賃金の伸び悩みなどによる消費者の購買意欲が低調に推移するなど、景気の先行きは依然として予断を許さない状況が続いています。

当業界におきましても、個人消費の回復傾向は見られたものの、原材料の高騰や円安、仕入・物流コストの増加や人手不足と賃金コストの上昇など、新たなリスクの顕在化による経営環境への懸念要因が続き、厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、当社は企業理念として掲げる「健康づくり、幸福づくり、人づくり」の具現化に向けて、お客さまの生活を支えるための商品開発や情報・サービスを多角的・多面的に拡充するトータルライフ・ケアを推進してまいりました。また、当社ならではの「ふれあい業」による人と人との絆によるヒューマンネットワークを広げ、お客さまや市場に継続的に評価をいただくことに努め、収益力と企業体質の強化を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期における売上高は1,617百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は60百万円(前年同期比32.1%減)、経常利益は64百万円(前年同期比31.0%減)、四半期純利益は法人税等調整額14百万円を計上したため35百万円(前年同期比36.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、仕入・原料コスト等の増加に対応すべく販売価格等の改定を実施し、利益率の改善に努めました。また事業基盤の強化として配置薬などの委託販売を推進することにより、安定した収益基盤の確立や新たな顧客への販売と継続的な販売に取り組みました。尚、多様化する社会にあったトータルライフ・ケアの推進の為に商品開発やリニューアルを実施しました。特に「薬屋さんが考えた美味しいりんご酢」や「まるごと氷結糖トッデイEX」などが多くのお客さまから好評を博しました。

今後は積極的な採用活動と共にお客さまとのふれあいの強みを活かして更なる新しいサービスや価値創造に注力してまいります。

卸売部門においては、他企業のストアPB(プライベートブランド)の獲得、拡大に努めました。また、夏季商品等の継続的な販売や熱中症対策商品等の販売にも注力し、販売を高めてまいりました。EC事業(インターネット通信販売事業)につきましても強化し、安定的な収益基盤の構築を図りました。

その結果、売上高は1,445百万円(前年同期比1.9%減)、セグメント利益45百万円(前年同期比35.0%減)となりました。

②売水事業部門

売水事業部門においては、気温の上昇に伴い飲料水(12Lボトル)の売上は堅調に推移しました。近年、防災対策としての水の備蓄や熱中症対策として、ミネラルウォーター宅配市場の必要性が高まっており、中核事業の1つとして確立することを目標としております。また水関連商品等のサイドメニューのラインアップも増やし、お客さまへの利用促進を図りました。更に市場拡大しつつある浄水型サーバーも取り入れ、新たな市場へのチャレンジも行いました。

その結果、売上高は172百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益14百万円(前年同期比21.1%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は3,190百万円となり、前事業年度末に比べ378百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産の増加228百万円、現金及び預金の増加124百万円によるものであります。固定資産は2,262百万円となり、前事業年度末に比べ8百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、5,453百万円となり、前事業年度末に比べ370百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は2,303百万円となり、前事業年度末に比べ178百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加160百万円、電子記録債務の減少118百万円によるものであります。固定負債は612百万円となり、前事業年度末に比べ178百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加181百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,916百万円となり、前事業年度末に比べ356百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,536百万円となり、前事業年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加8百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.5% (前事業年度末は49.6%)、1株当たり純資産額は238.24円 (前事業年度末は236.95円) となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「2024年3月期 決算短信」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,107,433	1,231,459
受取手形、売掛金及び契約資産	533,353	761,435
電子記録債権	7,371	42,151
商品及び製品	541,218	546,172
委託商品	454,850	449,699
仕掛品	88	80
原材料及び貯蔵品	32,433	35,078
その他	141,288	133,423
貸倒引当金	△6,285	△9,203
流動資産合計	2,811,752	3,190,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	444,605	435,796
土地	1,198,806	1,198,806
その他(純額)	14,053	11,833
有形固定資産合計	1,657,466	1,646,436
無形固定資産		
投資その他の資産	168,734	151,751
前払年金費用	91,597	91,730
その他	353,413	373,213
貸倒引当金	△180	△246
投資その他の資産合計	444,830	464,696
固定資産合計	2,271,031	2,262,884
資産合計	5,082,784	5,453,182
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	240,984	312,460
電子記録債務	128,237	9,693
短期借入金	970,000	1,130,000
1年内返済予定の長期借入金	153,359	171,723
未払法人税等	46,281	47,909
賞与引当金	149,970	219,600
その他	436,861	412,334
流動負債合計	2,125,693	2,303,720
固定負債		
長期借入金	34,454	216,086
退職給付引当金	156,794	158,775
株式給付引当金	42,373	43,269
資産除去債務	2,580	—
長期未払金	178,120	178,120
その他	19,934	16,251
固定負債合計	434,256	612,502
負債合計	2,559,950	2,916,222

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	528,298	528,298
利益剰余金	1,586,660	1,595,291
自己株式	△300,276	△299,884
株主資本合計	2,495,694	2,504,718
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,139	32,241
評価・換算差額等合計	27,139	32,241
純資産合計	2,522,834	2,536,959
負債純資産合計	5,082,784	5,453,182

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,643,517	1,617,431
売上原価	655,458	672,606
売上総利益	988,059	944,824
販売費及び一般管理費	898,802	884,189
営業利益	89,257	60,635
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	615	769
受取家賃	4,143	3,694
その他	493	947
営業外収益合計	5,255	5,412
営業外費用		
支払利息	1,017	1,551
その他	0	0
営業外費用合計	1,018	1,551
経常利益	93,494	64,496
特別利益		
固定資産売却益	—	301
特別利益合計	—	301
特別損失		
固定資産除売却損	—	2,662
特別損失合計	—	2,662
税引前四半期純利益	93,494	62,135
法人税、住民税及び事業税	64,703	41,134
法人税等調整額	△27,102	△14,777
法人税等合計	37,600	26,357
四半期純利益	55,894	35,777

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	13,399千円	13,362千円
のれんの償却額	10,659	10,659

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	788,816	409,421	170,069	1,368,307	465	1,368,773	-	1,368,773
配置販売	274,743	-	-	274,743	-	274,743	-	274,743
顧客との契約 から生じる収益	1,063,560	409,421	170,069	1,643,051	465	1,643,517	-	1,643,517
外部顧客への 売上高	1,063,560	409,421	170,069	1,643,051	465	1,643,517	-	1,643,517
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	3,379	3,379	-	3,379	△3,379	-
計	1,063,560	409,421	173,448	1,646,430	465	1,646,896	△3,379	1,643,517
セグメント利益	62,383	8,152	18,721	89,257	-	89,257	-	89,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	746,759	449,853	171,488	1,368,101	547	1,368,648	—	1,368,648
配置販売	248,783	—	—	248,783	—	248,783	—	248,783
顧客との契約 から生じる収益	995,542	449,853	171,488	1,616,884	547	1,617,431	—	1,617,431
外部顧客への 売上高	995,542	449,853	171,488	1,616,884	547	1,617,431	—	1,617,431
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	1,159	1,159	—	1,159	△1,159	—
計	995,542	449,853	172,647	1,618,043	547	1,618,591	△1,159	1,617,431
セグメント利益	31,821	14,033	14,780	60,635	—	60,635	—	60,635

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。